

## 9条世界会議で 弁護士と市民がつどい 「第九」を大合唱！



2008年5月4日・5日に千葉・幕張メッセで

「9条世界会議」が開催された。

「9条世界会議」とは、日本の憲法9条を支持する世界の声を集め、「武力によらない平和」を世界へと広げるための国際イベントであり、ノーベル平和賞受賞者などを日本に招き、9条を幅広い視野から話し合うために結成されたものである。

5月4日の全体会には、予想を大幅に上まわる1万5千人が参加して、スピーチや音楽を通じて憲法9条が持つ価値、国際紛争を武力によらずに解決することの重要性についてアピールした。

全体会がクライマックスを迎えたのは、「市民と弁護士がつどい『第九』合唱団」による、ベートーベンの交響曲第九番の大合唱（写真）。東京ニューシティ管弦楽団の演奏に乗って「第九」を歌い上げ、会場は大きな拍手と歓声に包まれた。

今回の「第九」合唱について、「第九」実行委員会の事務局長を務めた久保木亮介会員（56期）は語る。

一昨年9月に、弁護士と市民がつどい「第九」コンサートを文京シビックホールで行い、大好評をいただきました。「弁護士がこういう取り組みをやるのは画期的」「また是非聴きたい」との感想がたくさん寄せられました。そのこともあって、9条世界会議でもう一度「第九」を歌おうという気運が高まり、60期の新人弁護士を中心

に、昨年秋に「第九」実行委員会（委員長 高橋崇雄会員〈18期〉）を立ち上げました。

今年1月に結成された合唱団は、短期間のうちに次々に参加者が増えて410名に。そのうち、東弁会員を含め弁護士・事務職員が約50名も参加しています。1月に合唱団を結成して、12回という少ない練習回数でしたが、懇親会（飲み会）も何度か持って、ずいぶん交流も進みました。テノールを元最高裁判事の濱田邦夫先生が歌われたことも大きな話題を呼びました。

歌い終わった時には、大歓声がホールの天井に反響して頭上から降ってくる様でした。音楽を通じて憲法9条と平和を願う気持ちを表現したい、という弁護士や市民の方々がこんなに沢山いるということ、あらためて実感しています。

今回の「第九」の大成功は、日弁連・東京三会の元会長の方々をはじめ多くの弁護士の呼びかけと、賛同金がなければ実現しませんでした。ご協力をいただいた全ての方々に、心から感謝したいと思います。